

平成29年度 第4回健康福祉審議会健康分科会 議事録

日時 平成30年2月23日(金) 13:45～

場所 かが交流プラザさくら201会議室

出席者 別紙のとおり

1. 開会

2. あいさつ 高川健康福祉部長

3. 議題

【1. かがし健康応援プラン21（第二次）中間評価報告書（案）について】

<新澤委員>

非常によくまとめられていますし、きちんとひとつひとつのデータを精査しながら、きれいにまとめられているなど感心しながら聞いておりました。色々な問題が出てくる際、子どもと高齢者の中間の層が一番手薄になっているのではないかと思います、歯周病の問題も含めまして。中間というのは結局働いている人。全体を見た時に「健康を支える社会環境の整備」となると思うのですが、「企業・大学等の健康づくり活動の推進」というのがあります。企業としてタニタなど出てくると思うのですが、この地域の企業というのは「町内にあるような地域の企業」ともう一つ「若い人が働いている企業」がありますが、そういった企業の意味も入っているのかわからないので教えていただきたい。

<事務局>

地域の企業については、こちらの一部に書いてあります「KAGA健食健歩プロジェクト」という中で、「健康づくり事業について、協働で出来ることはないか」などお話をさせていただく予定でおります。当然、地域企業とも一体となって健康づくりを進めて行くと考えております。

<新澤委員>

ありがとうございます。

<小橋会長>

今言われたことについて一つ意見があります。啓発はしないのですか。働く世代というのは一番「自分は健康だ」と思っている人が多い。時間もなし。なので、例えば病院が健康に関する啓発をするための取り組みを、企業の中でお願いできないかという事が必要ではないかなと思うのです。「市でやる事業の協力を地域の企業に求める」ということだけではなくて、「企業で働く人に対する健康を、企業を通してお願いする」という働きかけが出来ないかなど。その辺はどうですか。

<事務局>

来年度の事業として考えておりますが、今年度作成したウォーキングマップを企業の福利厚生に使えないかと検討しておりまして、来年度以降については、そういった形で企業の福利厚生であるとか商工会など団体でのイベントで使用していただけないかとお願いにあがることを考えております。

<小橋会長>

是非そういった取り組みをしていただきたいと思います。その他ご意見ございますか。

<湯谷委員>

今の企業との連携のところなのですが、企業を退職されてきた方で生活習慣病予備群の方が大変多いので、早めのうちに対策が何か出来ないかと企業の健康管理の部署と行政が提携していくという動きもありますが、今回、この計画では読み取りにくいです。多分色々なプロジェクトをお持ちだと思いますし、資料の P70 にも色々な実施事業があるのですが、この時にも、これから後期になる世代、企業から退職した方の健康管理であったり、または企業の職員・利用者の健康管理であったり、企業の困っているところも少し行政が協力していくことが出来ないかと。連携について何かニーズがあるのであれば、そういう面も検討していくような計画が立てられたらいいなと思いました。保健所でも地域職域としてなにか一緒に出来ないかと検討しておりますので、計画を練る際に声を掛けていただければ一緒に考えさせていただきたいと思います。

<中西委員>

P70(4)の「健康を支え守るための社会環境の整備」の最後に「地域を支えるボランティアの育成」とあるのですが、例えば保健推進員とか食生活改善推進員がいますけれども、これはその方達以外に何かボランティアというのを想定されていらっしゃるのでしょうか。P70 の(4)の社会環境の整備の最後の所に「保健推進員や食生活改善推進員などの地域で支えるボランティアの育成も進めて行きます。」とあり、P71 のiii「健康づくりを支えるボランティアの育成」の最後に「食生活改善推進員活動や各種のボランティア育成や活動につなげます。」というのが書いてあります。具体的にどんなボランティアの活動を想定されているのかということをお教えいただきたいと思います。

<事務局>

加賀市では保健推進員や食生活改善推進員以外にも、スポーツ推進委員やかがやき予防塾の修了生の方も、ボランティアとして、これから健康づくりのお手伝いをしていただけないかと考えております。

<後出委員>

先程の企業の話なのですが、企業の福利厚生にウォーキングのイベントを入れてもらおうと。私が思っているのはそれだけではなくて、企業自らが自分の職員や社員の為に健康づくりの努力をしてもらおうという啓発をなんとか市としてできないかということです。例えば座りっぱなしの職場だったら1時間に1回5分ほど立つとか。企業自らが健康に対して意識を高めてもらおう、そういう取り組みを企業に啓発していただきたいと思います。もう一つは P68 にある新しく行う事業に「ウォーキングマップを活用したウォーキング会の定例開催」「正しいラジオ体操教室の定例開催」と書いてありますが、具体的にどんなかたちで進めていこうと考えておられますか。もちろん地域と協力しながらだと思っておりますけれども、どのように開催するのかお聞きしたいと思います。

<事務局>

まず企業自らが健康づくりに取り組むよう啓発も含めてということでは、のちにご説明させていただくデータヘルス計画の部分にも重なってくると思います。今、国では、健診や健診後の特定健診の保健指導の推進を、国民健康保険だけではなくて、各医療保険者全体に求めている動きがあります。逆に言いますと企業もそこをどう取り組んでいくか、かなり喫緊の課題として思っているところです。そういったところを踏まえまして、行政か

らのアプローチと企業のそういった困りごとをマッチングしながら働きかけをしていけたらと思っております。各種団体の退職者向けの説明会や会合に出向いて、健診や健康づくりを紹介していきたいと考えています。ラジオ体操教室・運動ウォーキングに関しては、後ほど30年度の重点事業にて、具体的にご説明をさせていただきますと思います。

<新澤委員>

高齢者の介護予防では認知症の問題があると思うのです。それは市のどこか別のところで取り組むのならいいのですが、認知症問題も考えて行かなければならないかと思えます。私は健康運動関係の資格を持っておりまして研修会に行ったことがあるのですが、運動や頭を使うことで初期の段階だとかなり防止になるのではという話を聞くので、そういったことを加えたものを積極的にやっただけだと、実際効果は出るのかはわかりませんが、ある程度の認知症の予防とか福祉のひとつのきっかけも出来るのかなと思いましたので、ここでいう意見ではないのかもしれませんが発言させていただきます。

<事務局>

ご意見ありがとうございます。介護予防の事業に関しましては高齢者の「お達者プラン」という介護保険事業計画・高齢者福祉計画の方で認知症予防の部分はうたっております。重なる趣旨・目的の部分は高齢分野と共働事業として取り組みたいと考えております。

<湯谷委員>

P69のたばこの害という大きなところがありまして、子どもへの実際の害に対する情報提供もあつたらいいかなと思うのですが、この計画自体が青年期以降の計画の内容という事でしたので、子どもへの教育への内容がないのなら別の添付される資料によって、忠告していけばと思います。子供向けの衛生教育をすれば受動喫煙防止が大事となりますし、子ども自らがたばこの害を理解して周りの大人に注意を促していくことも出来ると思います。

<事務局>

ご意見ありがとうございます。タバコは小さい頃からの教育が非常に大事だと思っております。小さい子どもの対策については、これとはまた別になります「加賀市すこやか親子21」という計画で対策を載せております。またそちらと連携しながら計画等合わせて、タバコの害について、幼少期から高齢期まで通じた啓発活動をしたいと思っております。

<小橋会長>

分科会がいくつかに分かれているので、なかなか難しいですね。

【2. 加賀市国民健康保険保健事業等実施計画（案）について】

質問・意見なし

【3. かがし健康応援プラン21（第二次）中間評価（案）の答申について】

質問・意見なし

【4. その他について】

<小橋会長>

がん検診の自己負担の減額を検討するということですが、実際に行うのは31年度以降ということでしょうか。

<事務局>

まだ議会が始まっていないということでこういった表現にさせていただいておりますが、30年度の当初予算から「特定健診の減額」「60歳の方のがん検診無料」は予算計上しております、あと3月議会を通るのを待つという状況です。

<小橋会長>

議会が通れば新しく30年度からするということですね。

<事務局>

ちなみに特定健康診査の自己負担に関しましても、現在1000円のところを半額の500円で計上しております。

<新澤委員>

ラジオ体操教室、NHKのラジオ体操を使つてのことですね。素晴らしいことだと思うのですが、有資格者が教えて、体操を行うのでしょうか。そういったものをもっと地域で取り入れることは出来ないのかなと思ったのですが。比較的値段がかからないというか、録音があれば出来ると思うので。そういったものを何か地域でやっていращやるのか、教えていただけますか。

<事務局>

これは新たにということでラジオ体操教室の開催ということなのですが、市ではすでに「ラジオ体操ステーション認定制度」というものに取り組んでおまして、週1回ある程度の人数が集まってラジオ体操を行っている場所にステーションという看板を設置したり、CDデッキの無料貸与をしたり地域での推進に取り組んでいます。それとは別に今回定例開催をして、そこで学んだことをまた各町や地区に持ち帰り広めていただくような形でさらに拡大し進めたいと思っております。

<新澤委員>

それは育成するような形になるのでしょうか。

<事務局>

はい。

<小橋会長>

ご質問などや意見など最後にあればお願いいたします。

<新澤委員>

最初の質問のところでは言った通り、働き盛りの方の健康を支えるというのは大事だと私は常に感じております。働く人たちがどういう人達かという、自営業の方もいращいますが、多くの方、特に若い層は職場・企業

に入っているのです、そこを是非何かしてほしい。市として様々なテーマがあると思うのです。食の問題もあるし、運動の問題もあるし、健康・体・健診全体の問題、歯の問題などもすごく出てきておりますが、そういったことを与えられた場所で、各々、力を入れていただければ、若い方が50・60歳になった時に色々な評価が良くなっていくのではないかなといつも思っております。よろしく申し上げます。

<事務局>

小橋会長、議事進行、誠にありがとうございました。また、委員の皆さまには慎重なご審議、誠にありがとうございました。

以上

4. 閉会